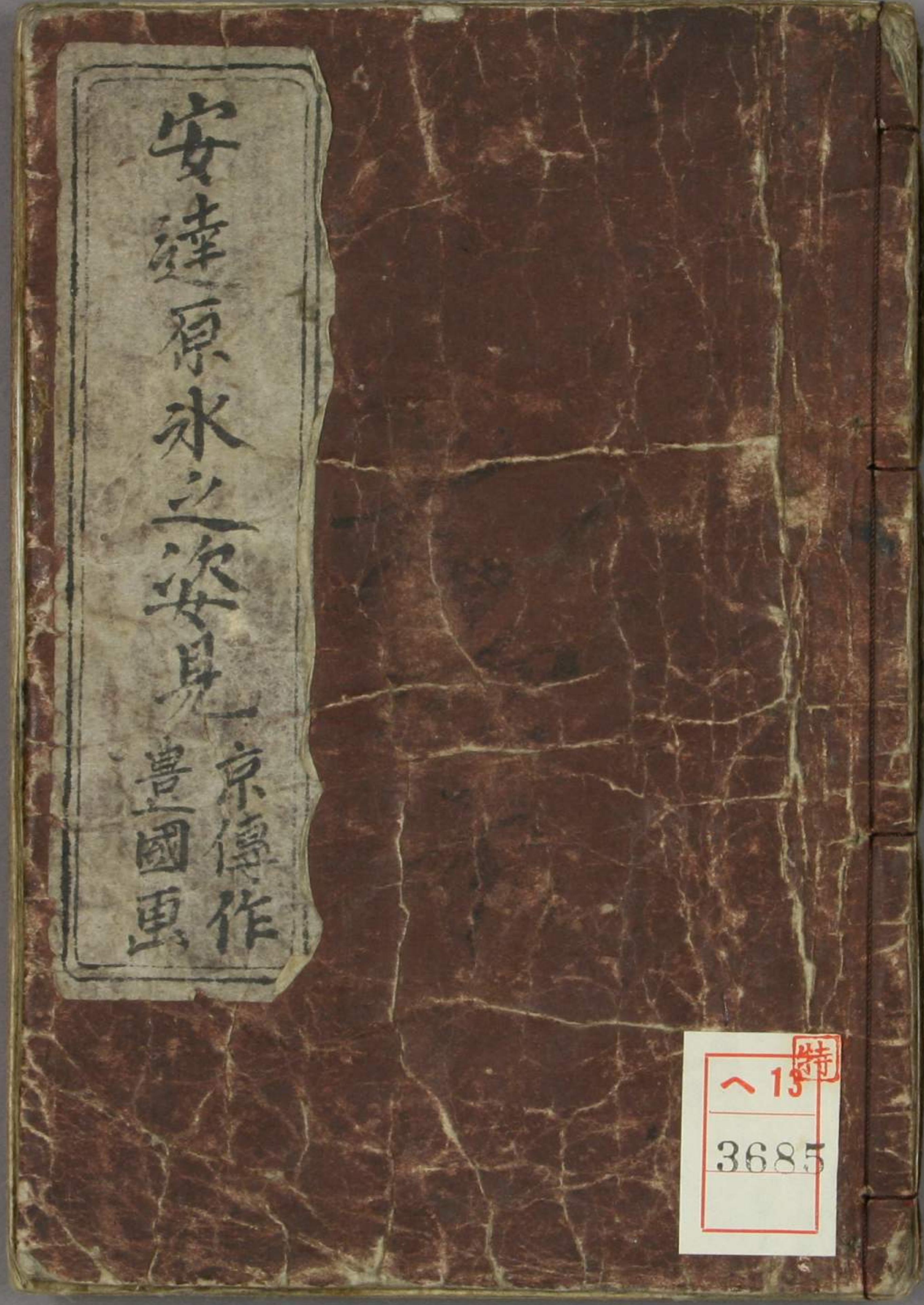


LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



山東
京傳作
歌川豊國画



安達原
金六冊
前編

門へ13
3685

山東京傳作
歌川豊國画

栢枝大橘

おそろしき我も此師走の月

安達原氷之次女見前編

全部六冊

東都 僊鶴堂梓行

自序 江戸通油町 鶴屋喜右衛門板

西のくちの安達原あきやとくる其角が句意さへ横ぐり。かの
戯曲の切賣と喰ちしとる華むさう。師走の月のかげとより
あふあふとるき板元のたて催促手付のぢん金すも手紙へんがんと
長く十重廿重小巻紙の理づもの文言むりあうむ。サあんとあふ
草稿と渡さまうとすあつけらる。そらちや残念や我秀才ああるさる
たち小趣向も深むべきふ。ふどもたじの絵草紙を作るもの智慧えたる
ぬいむねんととるごんごん。齒ぐととるてあのちあはるてふれハ蚊ハふん
蚤ハあふ。夜あふさるのゆさる夏の夜の。とらたのせんさう。其角が
西瓜とたひふて。かうく素い。安達原鬼一口の口絵うじてすうさう
十二支と絵の白髪あはれの官女正木のらりキスと。西瓜の目さういハ
穴くく

文化 九年壬申五月草稿成
十年癸酉春新繪草紙 山東京傳





三井の
頼豪阿闍梨

丑

子

厚
地穿
壙深
得所
大倉
食粟
可充飢

○宇治の
橋姫
丑の時

かきむら
三井の
仁王や
さくら立
晋其角



怒震千山外
名居百獸先

虎と藤と
和



未

傳兵衛

申

○ちり川のさるや
与次郎

○あまのさるや

○あまのさるや
とていふ



○あまのさるや
七郎

酉



○あまのさるや
由良の
とていふ
三庄太夫
少の郎

○あまのさるや
八郎





「うりこりちちがきりぐあくぬ」

うりこりやう
いこまのゆか
あゆむと
ちよ

京傳作
豐國重

● まりの牛がたりのさう

出板仕込

いこま
のゆが
あひ
ちり



生

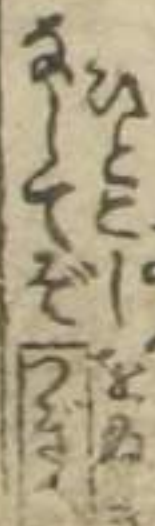
うづつれ目ぐふふあさぎみずつと
あひのこめめつとつあともをそろ

あゝめとゆふとちうづけてひそくあらぬや
みんぢうちをわいてみだれつちをいへんのんおまらけ
いのめのめうきむぢうすうりてきてこひまねか
れとくあらふきをたせうにひられよそのさるめ
ろちうまたあひれがそれと一かうこういこのすけぢ
らなにかしをさるてまねまへハせんぢうさ食人や上
あれがらちうるふうけてあるもまのうさんけんそれや
ありくてせうあくかくてあちうをといひおくれこそ
ささればあれがこひまねを身うけてはひわけの影と
まぶるひえううてかうすくうそう

ついでにつづ



まのひら







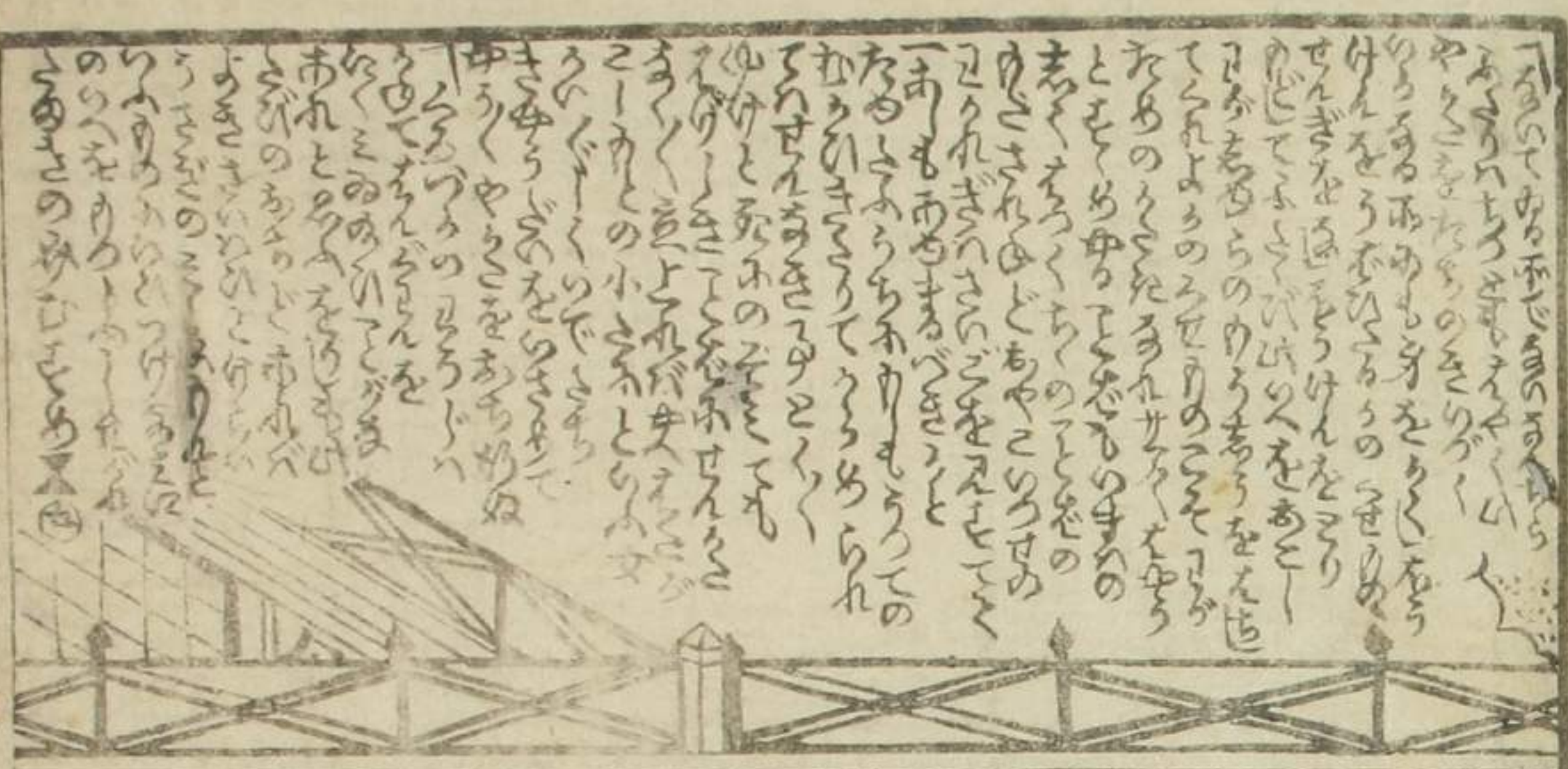
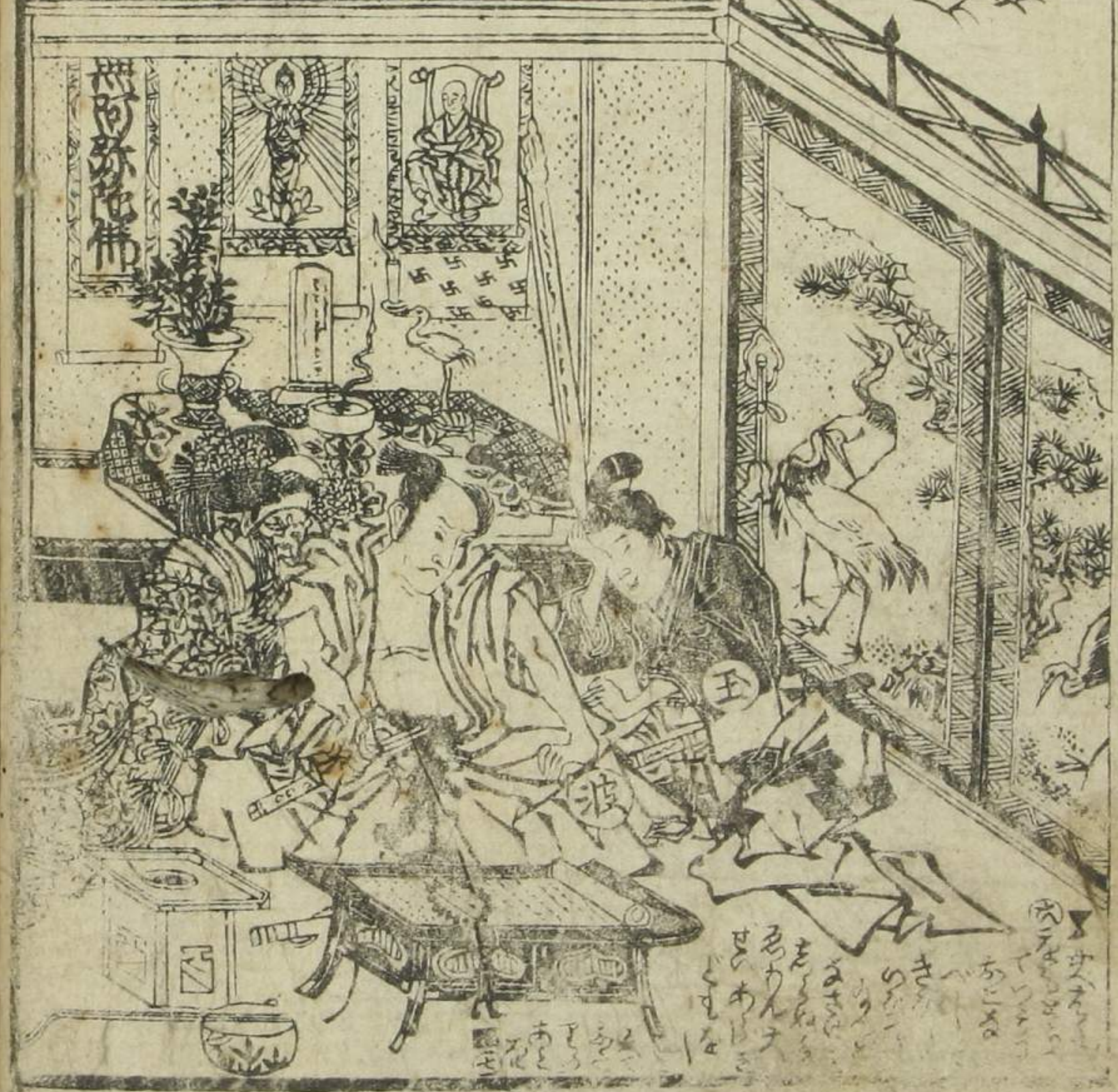
安樂子

[illegible]

きやうの
あやしの
こゝろに
あら女が
あつたうち

なまめいなの
たいふふと
むねおあさむ
なりこそあれ
うづよりうら
をうくと法士の
はやくまのぞく
「かき」このま
むねとてふ
げんぢうあ
あつたうち

[illegible][illegible]





安達原後編
六冊



豊國画○山東京傳作

京傳隨筆
前編四冊
本西の秋出版

山東京傳作
歌川豊國画

栢枝大橋

安達編原
全部六冊

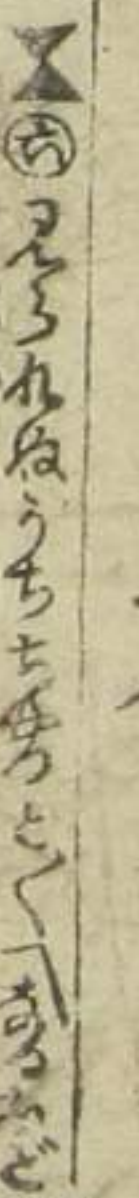
江戸通油町 鶴屋喜右衛門梓行

安達原後編上冊





卷之五

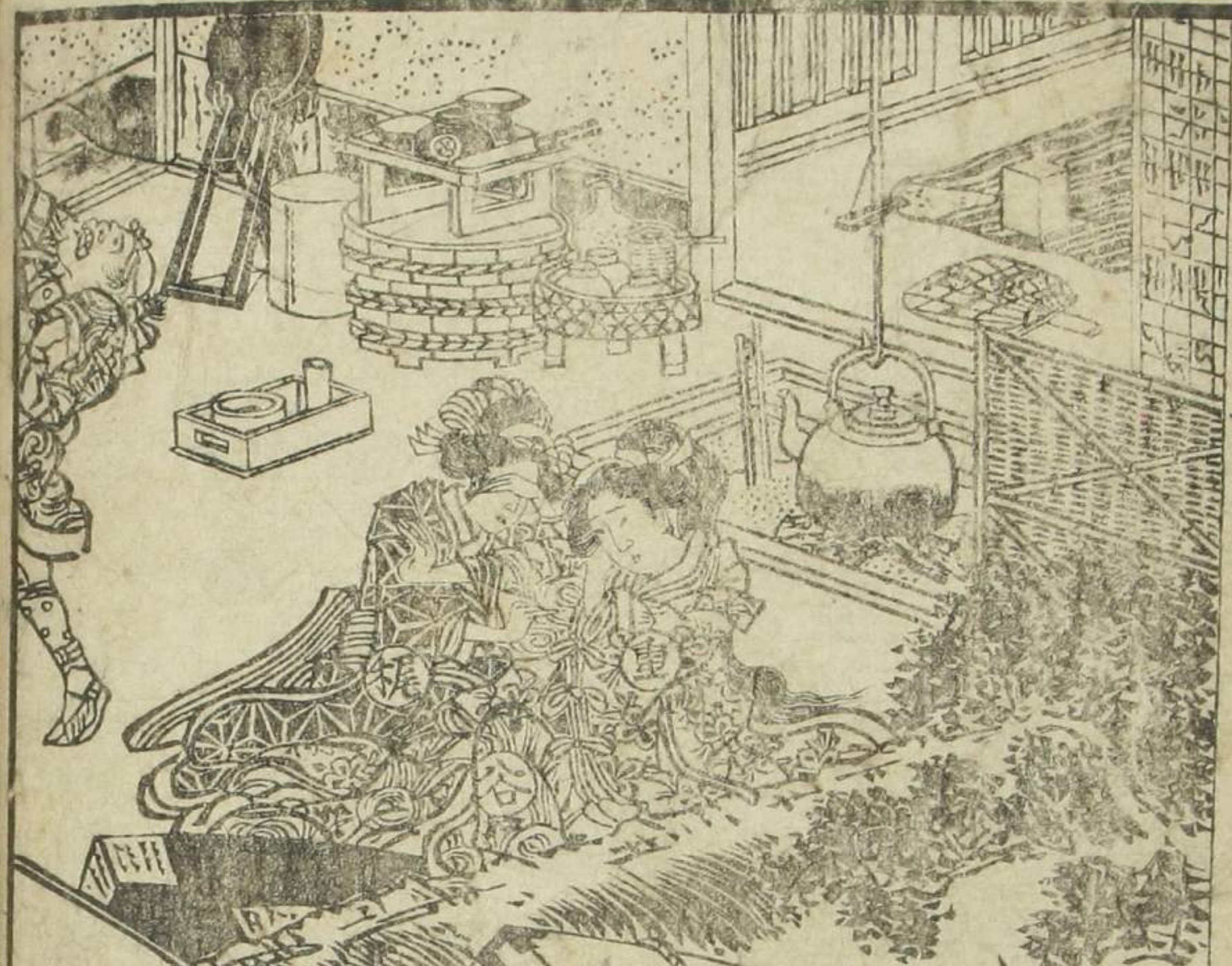


五

1



卷之四

[illegible]

すのてき あばしやうこふしふふんぐでやさ
あれとやうなのてきヤアねまんたけづのけられ
どもあんぐんでせんすくはよふかぢあちこ
まなこをさるゝあなふてあんふつちあふ
うとくしてたてきさうどろさうあふ
うさふ次むまあがあつちのけつちあふ

ありあつと
 ありあつとあちやの
 うちりてあけてきて
 びつくりとハテさてあんき
 さんふもつてまゐるなり
 のちろりのをこゝてやらうと又あ
 りのせんびつをひきのぐりやけ
 うちあつちれがきづつらのうりや
 りつておけつてバまんき「キ又
 うちあもびつくりさるあちの
 ちのちよあちうとあけてん
 うきあちのう「キうきあち
 ちよあちうとあけてん

後編中冊

[illegible][illegible][illegible][illegible]



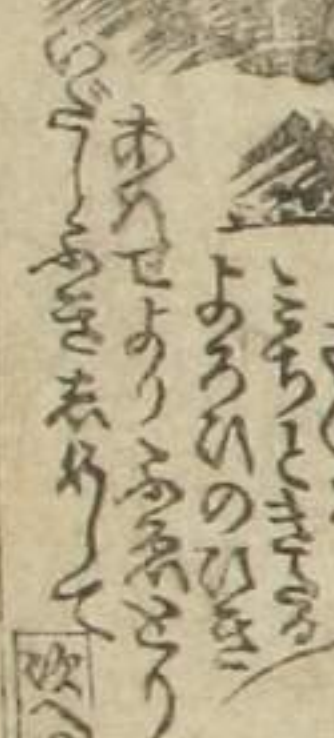
まづこの
工をなして
ひきの
まづこの
工をなして
ひきの
まづこの
工をなして
ひきの




 ③のちひより
 ちよむら
 まるをもの
 はらの
 うを
 ニとん
 むり
 くす
 ④



八
 四
 十
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

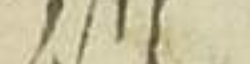
[illegible]



後編下冊

[illegible][illegible]



あやふさ
ぞうち
ぐろつと
てれんは
くくろろ
えていつ
ひくさ



⑧ いろいろおもくはかまうともひやうで
 そうぶよりふんざんとちをううひやう
 ありふーふれはこれおへん
 あやこをさやーくひやうはさへおひつ
 その様をなりあひひやうをううひやう
 あやこひやうをううひやう
 るひやうをううひやう

〽^①^②うゝふさぞんあんたら
 のまじやうをさざらんそのいぢりけし
 たらぬぞあつたのちひさかたて
 けやふきとりのあかくのいくねれてこひ
 こよせひらのまじやうをうねれ
 おにてむねんあづはこそさ
 らうといりとうづいそひり
 けりおの口とといふをさ
 うが子千世といふをさ
 うるや「やアくこそいひめ君
 まつめてまじやうをあらば
 こゝろをさ



(六) オウの
 るはすれが
 うゆるり
 ちゅうども
 げんないぞれも
 じふまごなり
 それとちゅうぞ

(七) あはち
 ちち文の
 てもちアうめて中なりあは
 ちちあふぞきどめ
 ぞうちゅうち一の
 ちちとちちあふ
 とのひ (三)

(八)

康平のそいふらんあつと
あふびととのうちどに
のこざうあふびとて
こふれとふさふさ
ふてありきなり
(五)

[illegible]



武亭三馬作
二枚續吾婦錦繪全冊日高川清姫物語 全冊
歌川國貞画

山東庵主人著
骨董集 上編大本 四冊
來西秋出板仕候

談洲樓馬馬老人著
花江戸年代記 全十冊
歌舞妓
勝川春亭画圖

初夢富士見曾我 狂言あみか 袋入二冊 談洲樓馬馬老人著
勝川春亭画圖

書林問屋 江戸通油町儒鶴堂鶴屋喜右衛門版

嘉永六年孟春為表具
南保代所持

